



南越前町

議会だより

2021.11

Vol.37



河野の夕日

Contents

- ② 9月定例会報告・常任委員会報告
- ③-⑤ 一般質問・主な議会活動報告
- ⑥-⑦ 主な議会活動クローズアップ
- ⑧ あなたの出番です・編集後記



河野シーサイドパーク「人魚姫」

9月定例会

9月定例会は、9月10日から17日までの8日間の日程で開催されました。

本会議の開催

9月10日に開会し、一般会計や国民健康保険今庄診療所特別会計などの各会計補正予算7議案、令和2年度南越前町各会計歳入歳出決算認定及び水道事業会計決算認定にかかる2議案、また今庄宿が重要伝統的建造物群保存地区に選定されたことに伴い、保存地区内の土地家屋に対する固定資産税の減額を行う南越前町重要伝統的建造物群保存地区における南越前町条例の特例を定める条例の制定など条例に関する3議案、公の施設の指定管理者の指定管理期間の変更や工事請負変更契約の締結、財産の取得にかかる5議案の合計17議案を上程しました。

一般質問の実施

9月13日の本会議では、一般質問が行われ、コロナ禍における事

業者支援に関するものなど町政全般について、5名が町長の考えを質しました。

各常任委員会開催

9月14日、総務文教常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

また、9月15日に産建厚生常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

本会議の開催

9月17日の本会議では採決を行い、上程された17議案のうち12議案が原案どおり可決されました。

また、令和2年度南越前町各会計歳入歳出決算認定及び水道事業会計決算認定の2議案を審査するため、議長と議会選出監査委員を除く12名の議員で構成する「決算特別委員会」を設置することにしました。特別委員会の委員長に加藤伊平議員、副委員長に城野庄一議員を選出し、決算審査を付託して閉会中の継続審議としました。自治労福井県本部より提出された陳情「地方財政の充実・強化を求める意見書採択について」は、趣旨採択としました。

常任委員会報告

▼総務文教常任委員会

委員長 平泉 初男
(9月14日 開催)

今期定例会において、総務文教常任委員会に付託されました案件審査のため、9月14日に委員会を開催いたしました。

付託を受けました議案第64号「令和3年度南越前町一般会計補正予算第4号」のうち、本委員会に関わる事項及び、議案第73号「南越前町地区集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正について」から議案第75号「南越前町重要伝統的建造物群保存地区における南越前町条例の特例を定める条例の制定について」までの条例に関する3議案、並びに議案第80号「財産の取得について」の合計5議案、また陳情第4号について、関係理事者の出席を求めて、所管ごとに慎重に審査をいたしました。

採決の結果、各議案につきましても、いずれも原案のとおり認めること、陳情については趣旨採択とすることを決定いたしました。

▼産建厚生常任委員会

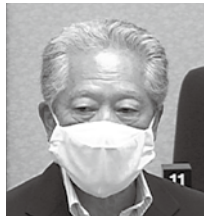
委員長 熊谷 良彦
(9月15日 開催)

今期定例会において、産建厚生常任委員会に付託されました案件審査のため、9月15日に委員会を開催いたしました。

付託を受けました議案第64号「令和3年度南越前町一般会計補正予算第4号」のうち、本委員会に関わる事項並びに、議案第65号「令和3年度南越前町国民健康保険今庄診療所特別会計補正予算第1号」から、議案第70号「令和3年度南越前町下水道特別会計補正予算第1号」までの補正予算に関する7議案、次に、議案第76号「公の施設の指定管理者の指定管理期間の変更について」から議案第79号「工事請負変更契約の締結について」までの4議案について、関係理事者の出席を求めて、所管ごとに慎重に審査をいたしました。

採決の結果、各議案につきましても、いずれも原案のとおり認めることを決定いたしました。

一般質問



高橋 宏介

一、コロナ禍での飲食業・旅館業の支援策は

問 県独自の緊急事態宣言により、県をまたぐ移動や他県からの帰省の中止・延期を求められたことで、キャンセル等が発生した。

町長 町の支援事業の延長は考えないのか。また、新たな町独自の事業は考えないのか。

答 **町長** 本町の支援事業は10月末まで利用できるため、現時点では計画通りとします。新たな支援事業については、現行事業の第一弾実施を検討中です。

二、重要文化的景観を活用した観光巡り

問 糠地区が令和3年3月、重要文化的景観に選定された。地区住民としては、水仙を復活させたい。海岸線の水仙畑に、獣害柵と落石防護壁の設置は可能か。また、「糠杜氏」

として先人が歩んだ歴史や杜氏を後世に引き継ぐため、右近家・中村家と水仙畑や糠杜氏を「連とした観光事業での利活用は考えられないか。

答 **町長** 今年3月に選定を受け、8月に選定地区3市町で「文化的景観保存活用連携協議会」を設立しました。今後は、3市町と連携を図りながら水仙畑の復活や圃場の整備、文化的景観の魅力発信やガイドブックの作成、案内サインの設置を推し進めます。さらに、杜氏の文化をはじめとする糠地区の歴史文化の継承について、地域の方々のご理解を得ながら総合的に取り組めます。

答 **農林水産課長** 獣害柵と落石防護壁の設置について、来年度以降の事業実施に向け県に強く要望していきます。

答 **観光まちづくり課長** 町としては、「糠杜氏」の歴史文化を観光事業に活用する計画はありませんが、貴重な歴史文化であり、後世に伝えていく事業の取組を検討していきます。



糠杜氏組合の展示資料



高橋 宏介

南越前町小規模事業者もつと応援給付金事業について

問 現在、町が行っている「南越前町小規模事業者もつと応援給付金」であるが、申請の条件にされている「国の一時支援金」または「福井県版持続化給付金」を受給している町内の事業者という部分に問題があると思う。

答 **町長** 南越前町小規模事業者もつと応援給付金支給事業は、厳しいコロナ禍にあつて、町内事業者の経営の持続化を支援するため、一定の要件を満たせば、1事業所当たり10万円を支給するという事業です。そして、その要件を「国の一時支援金」か「福井県版持続化給付金」のどちらかを受けていることとしています。これは、申請手続きや審査事務の簡略化を図り、迅速な給付金の支給に繋げていくためのものです。

しかし、令和3年1月、2月、3月の売り上げが令和元年または

令和2年と比較し、50%以上減少している場合を要件とする「国の一時支援金」や、各種の給付金を含んで、令和2年度の年間売り上げが令和元年度と比較して10%以上減少した場合を要件とする「福井県版持続化給付金」は、高橋議員ご指摘の通り、申請者にとつては、ハードルが高いものとなっているように、昨年度町が実施した「応援給付金」に対し、今年度の「もつと応援給付金」は、8月末日時点で3割程度と低調な状況であります。県では、緊急事態宣言の長期化により、さらなる影響を受ける小規模事業者への追加支援や、既存制度の補完を図るため「経営改善支援金」や「中小企業者等事業継続支援金」の支給を始めたところであり、町としましては、

早期に現行制度の支給要件や申請期間の見直しに着手し、予算の範囲内において、広く町内事業者に支援が行き届くよう取り組んでまいります。





熊谷良彦

道の駅「南えちぜん山海里」 周辺環境整備について

問 施設の開業に伴い交通量の増大が見込まれるが、どのような対策をしていくのかを伺う。

答 町長 道の駅「南えちぜん山海里」は北陸自動車道で県内唯一のサービスエリアに隣接し、高速道路と一般道路の両方から利用できることから、大きな集客力と発信力を持つ施設です。ここは、地元農林水産物や特産品の販売を始め、酒類の販売やキッズルームの設置、施設に隣接する公園の整備により、多くの世代に長時間楽しんでもいただける施設であり、地域の振興や交流促進に大きな期待をしております。

この周辺環境整備については、道の駅の開設により、車両、自転車、歩行者などの交通量が増加することが予測される事から、通行者の安全確保のため、周辺の町道柳町線及び町道鑄物師阿久和線の

歩道整備や町道駄小屋線及び町道八斗田線の拡幅改良などを実施しました。今後は国道305号鯖波跨線橋から南条スマートICに直接アクセスできるように(仮称)鯖波大橋の新設を検討していくことで、安全な道路交通の確保や越前海岸への観光促進、新ごみ処理施設「エコクリンセンター南越」への搬入路としての整備促進などを図っていきます。

答 建設整備課長 道の駅「南えちぜん山海里」は、本町の観光振興や地域活性化、また地域の魅力の発信拠点としての役割を担い、観光案内や地域の魅力をPRする情報発信コーナーを24時間開設し、2階の観光案内所には専属の観光案内人を配置するとともに、花はす公園や河野北前船主通り、今庄宿を始めすべての観光地について観光マップの展示やタッチパネルで検索可能な*デジタルサイネージなどを設置し、来場者の方に町の魅力を発信していきます。また、街灯につきましては、道の駅駐車場及び施設の周辺道路であります町道鑄物師阿久和線、町道柳町線に照明を整備予定です。

*スクリーンを活用した電子看板



山本徹郎

町行政におけるデジタル化 に向けた取り組み

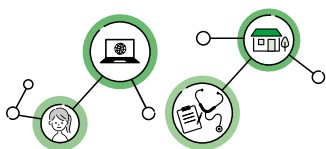
問 町行政におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の現状について

答 町長 町におけるデジタル化の一例として、税や水道料金のコンビニ決済やキャッシュレス決済などの実施により、約五〇万円経費が削減されています。今後は、会議資料のペーパーレス化の推進で年間二百万円以上の経費削減を図ります。9月補正予算案では、町が避難所と指定する南条文化会館と南条保健福祉センターに公衆用WiFiを整備し、災害時に無料開放出来るようにする他、保育所等の利便性促進策として、保護者との情報交換や園児の画像提供をオンライン化するなどのICT推進事業を提案予定です。「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化による多様な幸せが実現できる社会」というデ

ジタル庁の目標に則り、デジタルの活用で、町民の皆様が最大限の行政サービスを受受できるようにまちづくりを進めます。

問 DX推進に向けた本町での取り組みについて

答 総務課長 本町では、システムエンジニアの経歴を持つ職員が総務課に配置されており、町のデジタル化推進に寄与しています。今後は、デジタルの知識と技術のある程度有する職員を配置する仕組みを検討する他、人材の確保と育成を推進します。尚、デジタル推進計画の策定にあたり、外部からの支援を仰ぎ、全職員がDXに順応するためのスキル向上も図ります。また、本年十月以降には、マイナンバーカードと連携した様々な行政サービスが立案・実行予定です。本町としまして、デジタル化の推進における暮らしやすさを実現できるよう、先進的な自治体の事例を研究する他、県や近隣市町と連携を図り、住民本位の行政サービスを提供できるよう努めてまいります。





山本 優

一、風力発電の住民アンケートについて

問 持続可能な社会の達成を目指すため「再生可能エネルギー」の利用は大切な選択肢であり、現在、町内に風力発電建設計画がある。町はそれに対し住民アンケートを実施した。集計された資料の分析結果の主な内容と今後、国・県との関係について聞く。

答 町長 風力発電は、再生可能エネルギーの利用促進に資するものであります。計画に対して発電が可能と見込まれる発電事業を経産大臣が認定するもので、手続きの過程で県知事から町長に対し意見を求められます。知事は町長などの意見を踏まえ、経産大臣に意見書を提出します。

先の町民アンケートの回収率は約47%でその詳細は町広報及び町のホームページに掲載しています。関心度は、各地区、集落により違いが有ります。回答者のうち

7割近い方は温室ガス削減、脱炭素社会実現のため風力発電など推進すべきとの意見でした。一方、町内での推進については、騒音・風車の倒壊・生態系への影響など危惧される面もありますので、今後これらの事を町環境審議会に諮りその報告を踏まえ、県知事に意見を述べます。また庁内に調査研究会を設置し、情報の収集に努めています。

二、町民の健康診断について

問 会場と受診率、今後の広報活動について聞く。

答 保健福祉課長 今年度の受診会場等の変更はありません。特定健診受診率は32%、県内11位。後期高齢者は16%、県内7位です。今後も受診率向上に向けて、きめ細やかな広報活動に努め、町民の健康維持に取り組んでまいります。



健康診査

南越前町議会の主な活動報告

- 8月13日 令和3年度全国高等学校総合体育大会総合開会式がサン・ドーム福井で開催され、議長が出席
- 8月16日 公立丹南病院組合議会定例会が鯖江市役所で開催され、組合議員2名が出席
- 同日、福井県丹南広域組合議会が鯖江市役所で開催され、議長ほか組合議員1名が出席
- 8月18日 福井県町村議会議長会議員研修会がオンラインで開催され、全議員が南越前町役場からリモート出席
- 8月20日 青木千佳選手東京オリンピック報告会が南越前町役場で開催され、議長が出席
- 8月27日 町内現地視察を行い、12名が参加
- 9月24日 福井県町村議会議長会議長・副議長研修会が福井県自治会館で開催され、正副議長が出席
- 9月29日 南越消防組合議会が越前市役所で開催され、議長ほか組合議員3名が出席
- 同日、南越清掃組合議会が越前市役所で開催され、議長ほか組合

議員3名が出席

● 10月5日 福井県町村議会議長会知事要望が福井県庁で行われ、議長が出席

● 10月7日 南越前町戦没者追悼式が南条文化会館で開催され、議長が出席

● 10月8日 道の駅「南えちぜん山海里」開駅式典が開催され、全議員が出席

● 10月25日 福井県市町議会議員合同研修会が鯖江市文化センターで開催され、全議員が出席

● 10月29日 丹南地区市町議会議員研修会がサバエシティーホテルで開催され、全議員が出席

● 10月31日 今庄宿重伝建選定記念式典が昭和会館で開催され、全議員が出席

【8月から10月の主な会合】

全員協議会

8月20日、9月10日、17日、

10月21日

議会運営委員会

9月3日

広報特別委員会

9月7日、10月7日、18日、25日

決算特別委員会

10月11日、14日、18日、21日

主な議会活動

クローズアップ

オンラインで 議員研修



コロナ禍の中、今年3月、他の市町議会と同様に、全議員にタブレットが貸与されました。

コロナ禍で三密を避ける事を求められる中、集まらなくてもできる会議や研修のため、当議会では「チームズ (Teams)」のソフトを使う講習会を行いました。使いこなすのはまだまだですが、研修を繰り返し返していきます。

一方、8月18日には、県町村議会による議員研修が「ズーム (Zoom)」を使用して開催され、全議員が役場



オンライン研修

内の2つの会議室に分かれて、リモートで参加しました。初めてのことで、使い方や通信回線の不具合など、戸惑うこともありましたが、リモート開催の効果を改めて確認できました。

コロナ対策として導入したものでありますが、うまく使いこなすことで、会議参加のための移動時間をなくすなどの効果も期待できます。

オンライン研修に参加したことでタブレットの効果を再認識でき、今後は全議員が使いこなせるよう、さらに研修を重ねていきます。



貸与されたタブレット

道の駅

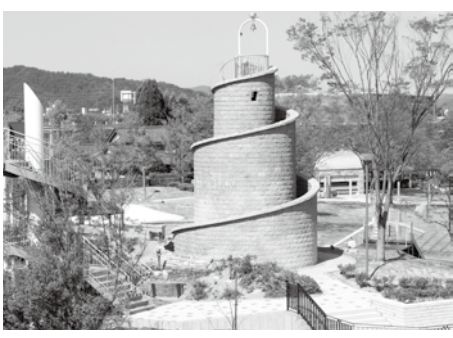
「南えちぜん山海里」

開駅、賑わう施設へ

好天となった10月8日、杉本達治知事をはじめ多くのご来賓の出席のもと、道の駅南えちぜん山海里の「開駅式」が行われました。

式典後には、一般道からの入場者を歓迎するため、今庄中学校吹奏楽部の演奏が駐車場で行われました。また、和太鼓やトランペットの演奏により高速道路からのお客様を歓迎するなど、賑やかにオープンイベントが行われ、大勢のお客様が見学と食事、買い物などを楽しみました。

この施設では、食事の他に土産物や当町の農林水産物の販売などにも力を入れており、町の活性化につながることを期待しています。また、本町の観光地を紹介するコーナーもあり、重要伝統的建造物



道の駅に隣接する公園の「バベルの塔」



町内の特産品や観光地のPRコーナー

群保存地区に選定された今庄宿や、日本遺産に認定された河野北前船主通りなど、多くの観光名所をPRするための拠点としてもこの道の駅に大いに期待しています。



にぎわう「山海里」の直売店

決算特別委員会 審議中



係課より決算の内容について説明を受けて

9月の定例会において、令和2年度一般会計他10の特別会計及び水道事業会計の決算審査の付託を受け、10月11日から11月18日までの間、関

て審議を行っています。決算内容について、慎重に審議しておりますので、審議された結果については、12月定例会にて報告をいたします。



審議中の様子

町内施設の現地視察



8月27日、管理や利活用に課題のある町内の施設について現状を確認することとなり、今回は主に今庄堺地区を全議員で視察を行いました。その結果、各施設の現状と課題が見えてきました。

今後、他の地区の施設についても視察を実施し、施設、用地等の在り方について、理事者側と協議していきます。

一、今庄365スキー場に隣接するキャンプ場について

- 木造平屋の管理棟は、老朽化が進んでいる。

二、青少年育成センター「とぎめき」について

- あまり活用されていないグラウンドや校舎の利活用の検討が必要である。

三、今庄そば道場について

- 今庄そば道場裏の庭園は整備されているが、利用者が少ない。利活用の検討が必要である。



そば道場の庭園



キャンプ場の管理棟

四、板取宿の木造住宅について

- 茅葺屋根の傷みが激しく、維持管理に課題がある。



板取宿

防災服が貸与される



7月に、私たち議員にも町職員と同様の防災服が貸与されました。

科学者の寺田寅彦氏のことばに「災害は、忘れたころにやってくる」というのがあります。

現在、当町では大きな災害は発生していませんが、有事の際には、議員も状況に合わせ調査や支援のため、防災服を着用して現場に向かうこともあります。





日野川を鮎釣りなどで賑わう川に

賑わう川に

私たちは、河川の大切な役割を研究し、美化活動を通じて、河川環境の保全運動を提唱推進するグループで、多くの皆さんの参加で運動の拡大を目指しています。

河川の大切な役割

河川は、大小を問わず上流の雨を海まで導く役割ですが、近年は局地的大雨による災害の発生もあり、そのためダムや治山堰堤の整備は大事な役割です。計画にあ



子ども達の川遊び防災訓練

たつては、そこに住む人と動植物との共生を図りながら豊かな自然環境を守るなど、他のものにも配慮する必要があります。私たちの身近な「日野川」では、夏休みに子供が、生き生きと川遊びする姿が見られました。今は、残念ながらほとんど見当たりません。それは、地球温暖化による気候の変化、河川の改修による水質の悪化などが考えられます。そこで、利水、治水と併せ、アユや水生生物と共存できる川を取り戻すことを目指す活動の理解浸透なども大切なことだと思えます。



日野川の鮎釣り

地域開発のため、ダムや堤防の建設などが進んでいますが、河川の生物を守ることは住民の潤いのある生活環境を守ることであり、私たちが出来ることは、広く住民と共に保全活動を進めることと考えています。皆様のご理解とご協力、ご参加をお願いいたします。（今庄地区で活動を進める皆さんにお聞きしました。）



日野川の投網

皆様のご理解と応援を

日野川は、昭和30年代には、全国から大勢の客が鮎釣り場として集まっていた川であり、この川で生計を立てる方も沢山いました。

編集後記

「中秋の名月」今年も8年ぶりの満月だったとのこと。地域差はありますが、9時半頃には雲はなくなりくっきりと見え、心が癒されたのではないのでしょうか。さて、今年もコロナ禍での秋スポーツイベント等も観客制限があったものの、中止には至らず開催されたことは選手や参加する方々の励みになったのではないかと思います。

また本町でも、北陸自動車道上り線の南条サービスエリアに隣接する道の駅「南えちぜん山海里」がオープンするとともに、上平吹橋の完成、さらに今庄宿が重要伝統的建造物群保存地区に選定されるなど、本町にとって重要な役割をなす出来事がありました。

これらを機に南越前町の知名度を上げ、活性化につながればと願います。

今後は一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束して、元の日常生活に戻るよう共に頑張りましょう。

(大浦)